

# 巡視船くろせの解役及び巡視船きりしまの配属について!!

呉海上保安部所属巡視船くろせは、38年以上の永きにわたる任務を終え、令和7年3月13日に解役式を行いました。

また、巡視船くろせの解役に伴い、新たに同年3月19日巡視船きりしまが当部に配属されました。

## 巡視船くろせの解役式について

実施日時： 令和7年3月13日(木) 午前10時

実施場所： 呉海上保安部巡視船艇棧橋(呉市宝町9番25号)

実施内容： 巡視船くろせの永年の労を称えとともに、国旗、庁旗の降下、献酒を行いました。



【巡視船くろせ解役式】



【巡視船くろせ献酒】



【乗組員一同記念撮影】



### <巡視船くろせの主要目>

番号・船名	PM13 くろせ
総トン数	325トン
長さ	67.8メートル
幅	7.9メートル
就役年月日	昭和61年11月13日 (下田海上保安部配属 旧船名 かの)

当部配属 年月日	平成25年8月15日
-------------	------------

### <巡視船くろせの実績>(38年間)

総航程	27万1,588海里 (約50万km 地球約12周半超)
海難 出動件数	755件
救助人数	185人

### <巡視船くろせの船歴>

巡視船くろせは、昭和61年11月13日、巡視船かのかとして下田海上保安部で就役し、その後、釧路海上保安部(船名いしかり)、福岡海上保安部(船名むろみ)配属を経て、平成25年8月15日、呉海上保安部に配属替えされました。

呉海上保安部に配属後は、潜水士が乗船する巡視船として、主に呉市、東広島市、竹原市、江田島市、大崎上島町周辺海域において、海難救助、海上における治安の維持等の業務に就き、海の安全を守ってきました。

近年では、平成30年7月の西日本豪雨災害において、行方不明者の潜水捜索、給水活動活動に従事し、また、令和3年5月及び令和5年2月に来島海峡航路で発生した貨物船衝突、沈没海難事故に際しては行方不明者の潜水捜索にあたるなど、常に第一線で活躍しました。

## 巡視船きりしまの配属について



### <巡視船きりしまの主要目>

番号・船名	PS22 きりしま
総トン数	195トン
長さ	46.0メートル
幅	7.5メートル
速力	35ノット以上(時速65km以上)
就役年月日	令和4年12月21日(宮崎海上保安部所属)

**船名の由来** PS型巡視船の船名は、山又は海岸の名称を由来とし、旧配属の宮崎県の馴染みのある山から命名されました。  
なお、この度の配属替えに伴う船名変更は予定されていません。

